

整形外科と手のしびれ

～頰椎症など～



整形外科講師

青木保親

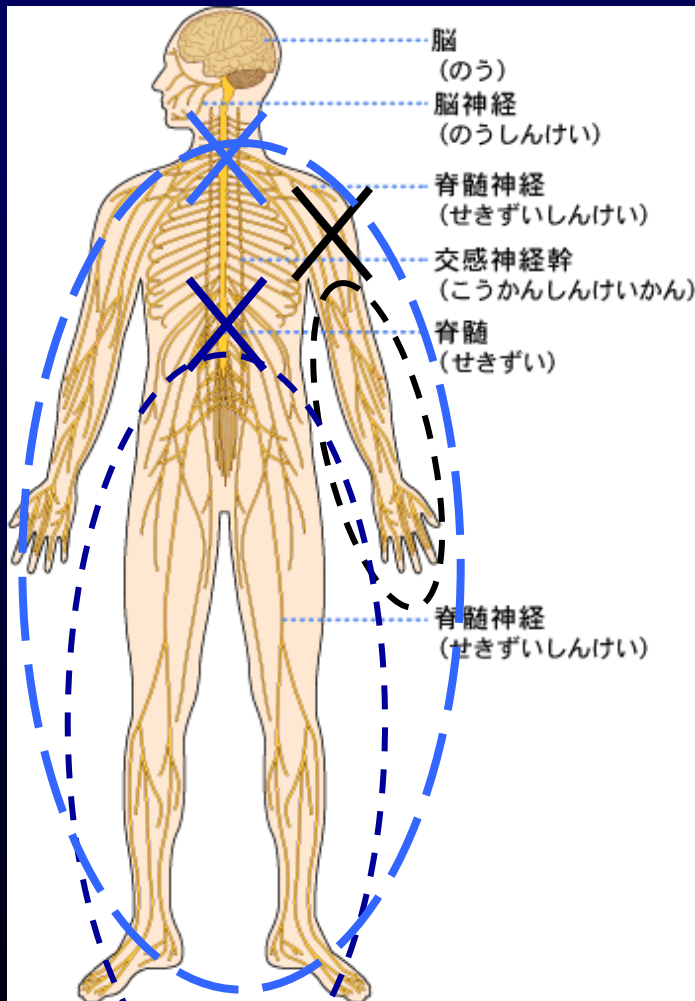
整形外科の病気による手のしびれ

障害部位

上肢(腕)

頸椎(くび)

胸椎、腰椎疾患(せぼね)



頚椎(くび)と腕の神経障害の違い

	頚椎の神経の障害	腕の神経の障害
しびれの範囲	広いことが多い	狭いことが多い
腕の痛み	あることが多い	ないことが多い
首の痛み	あることが多い	ない

頸椎疾患について



まず簡単に区別してみましょう

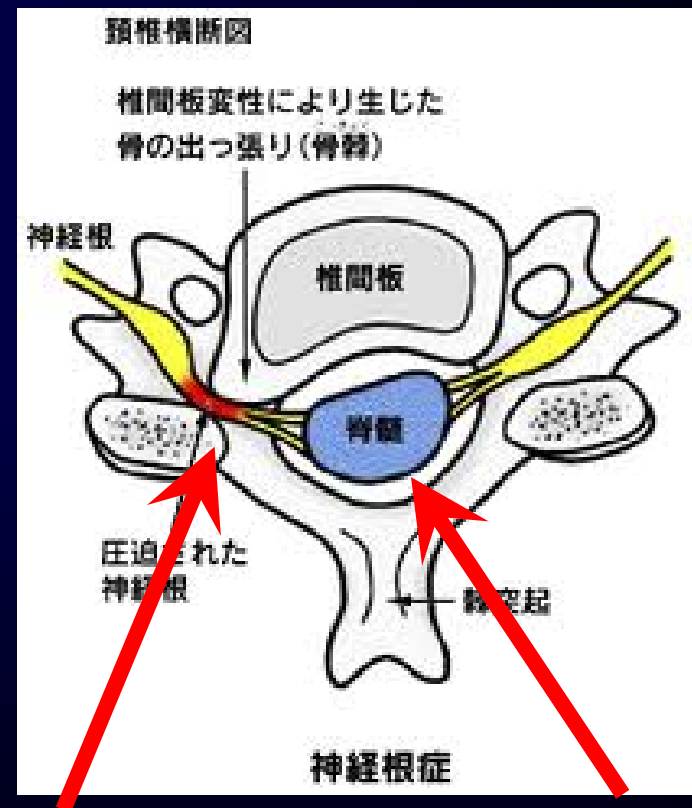
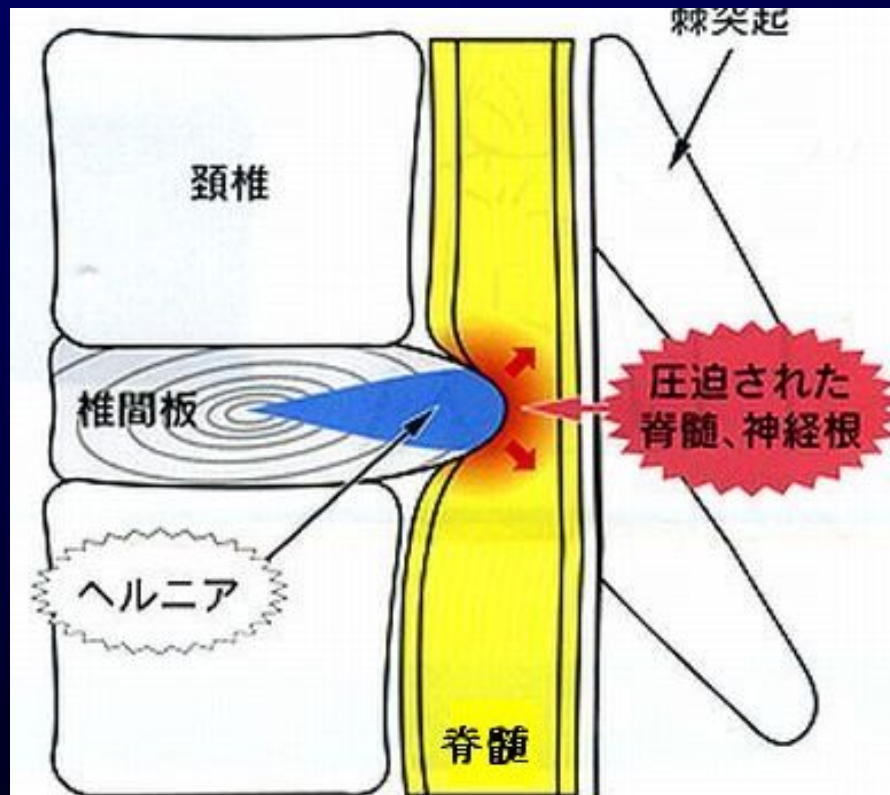


- 頭を圧迫しながら首を左右に倒す。
- 手にしびれを感じたら：
頸椎神経障害
- 頸部痛を感じたら：

頚椎の構造、脊髄神経、神経根



代表の病気：頸椎椎間板ヘルニア



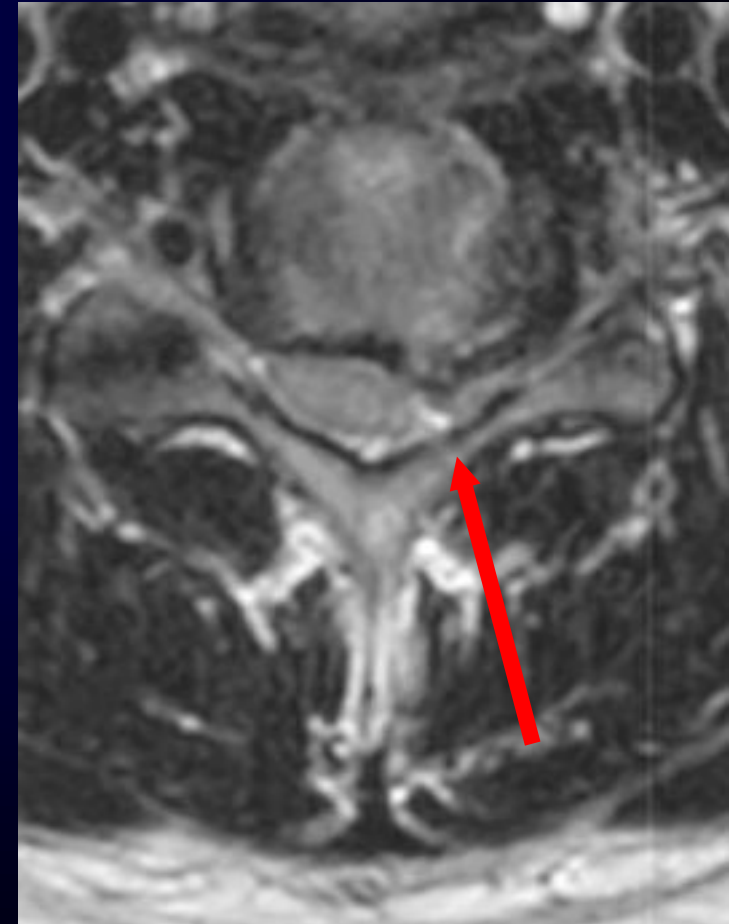
神経根障害

脊髄障害

診断：レントゲン



診断：MRI



治療方針決定に最も重要なこと

- 脊髄の障害があるかどうか？
- 運動麻痺があるかどうか？
- 痛みの程度は？？

	神経根障害	脊髄障害
症状	痛み	しびれ
麻痺	麻痺(一)	麻痺(+)
症状の部位	片手	両手(両足)
経過	自然に治る	悪化しやすい

脊髄障害の見分け方

- その1: 上肢
 - 細かい動作がしにくい(ハシ、ボタン)
 - グーパーが早くできない
- その2: 下肢
 - ぎこちない歩き方、つまづきやすい
 - 階段の下りが難しい

注意！当初は筋力は正常なことが多い

手の動き:グーパー



DSCN6573.AVI

正常



DSCN6575.AVI

脊髄障害

頸椎椎間板ヘルニアの治療法

- 薬物治療
 - － 痛み止め
 - － ビタミンB12、筋弛緩薬
 - － 抗うつ薬、抗てんかん薬
 - － 麻薬
- 安静
 - － 屈曲進展制限、カラー固定
- 頸椎牽引、物理療法
- 神経ブロック治療
- 手術



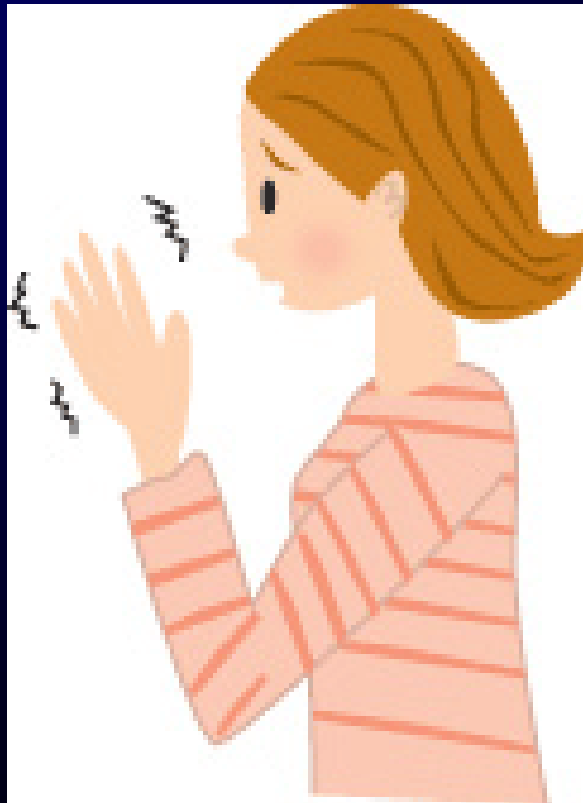
脊髄障害が進行した場合

- カラー固定
 - 圧迫は解除できないが、動きによる神経障害防止
- 神経の回復を助ける薬
 - ビタミンB12(メチコバル)
 - プロスタグランディン製剤(オパルモン、プロレナール)
- 手術
 - 神経の圧迫解除
 - リスクを念頭に選択

頤椎疾患のまとめ

- 治療には時間がかかります。
 - 痛みだけなら、鎮痛薬で粘ることが多い。
- 念のため頤椎は安静にする。
 - まくらは低め、生活に注意
- 脊髄障害に注意
 - 運動麻痺に注意する。筋力は正常なことも。

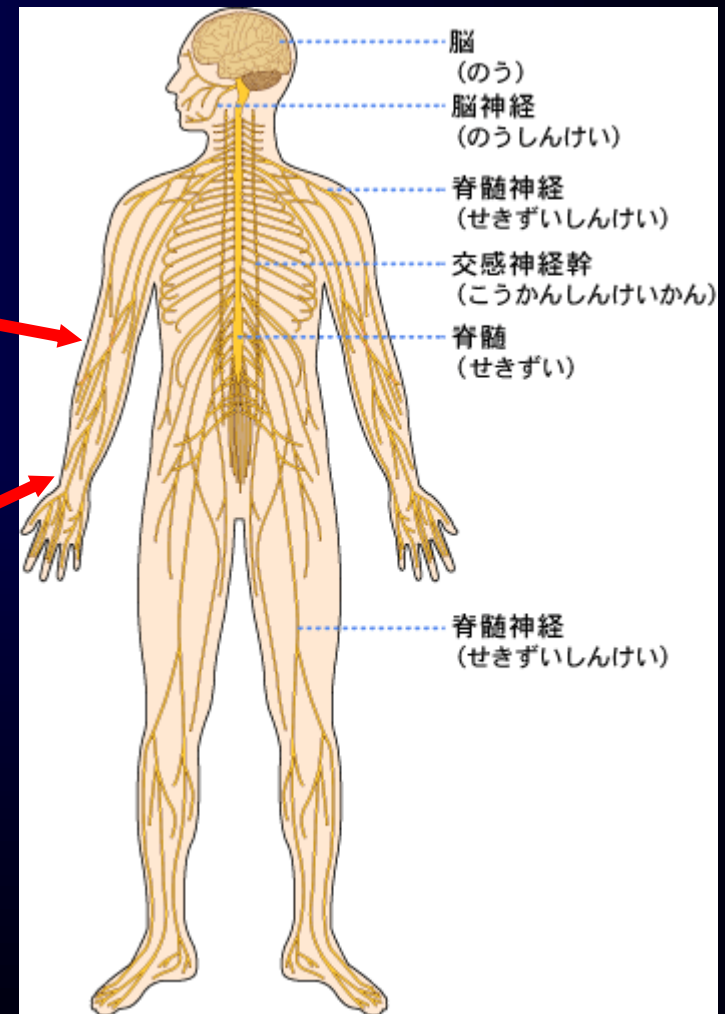
腕の(末梢神経)疾患について



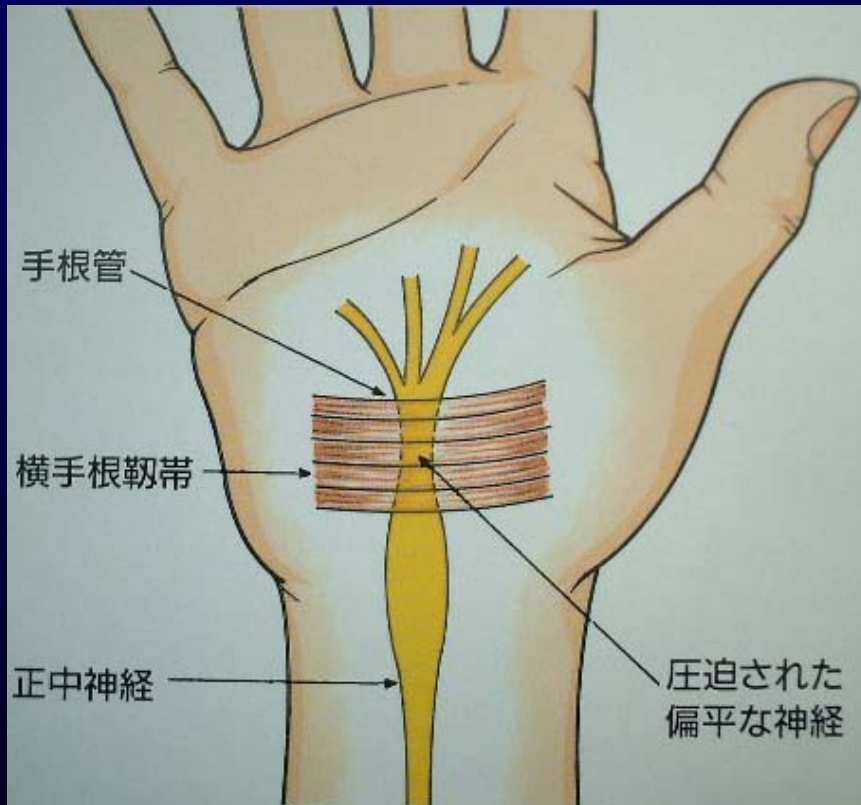
頻度が多い疾患

- 肘部管症候群

- 手根管症候群

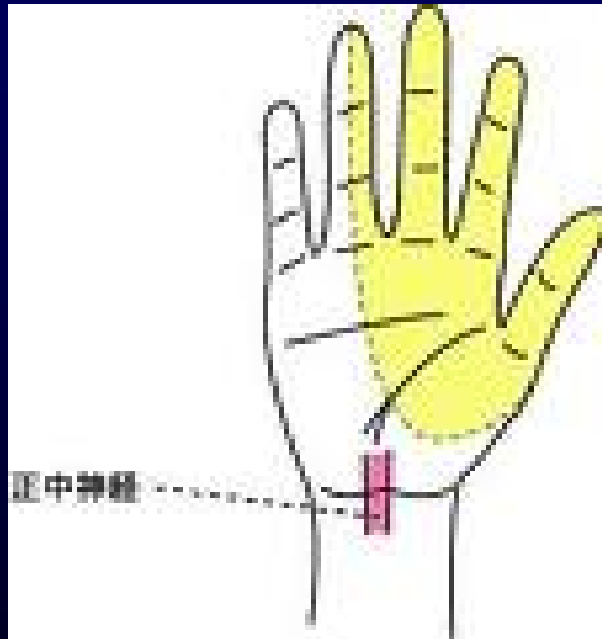


手根管症候群



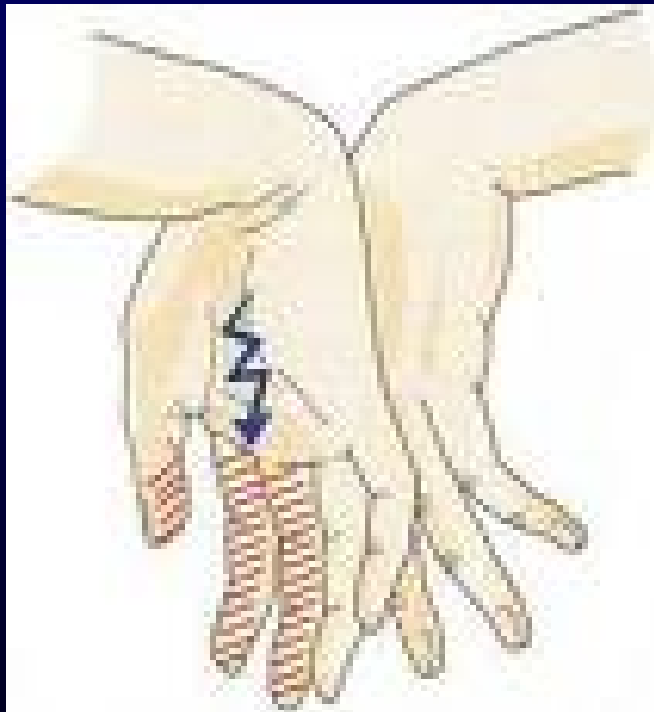
- 正中神経の圧迫
- 女性に多い
- 手の使いすぎ？

手根管症候群の症状



- しびれは1-4指のみ
— 腕にはしびれなし
- 夜間、明け方にしびれ増強
- 親指の麻痺(猿手)

簡単な自己チェック



これは危ない！



筋萎縮



猿手

診断

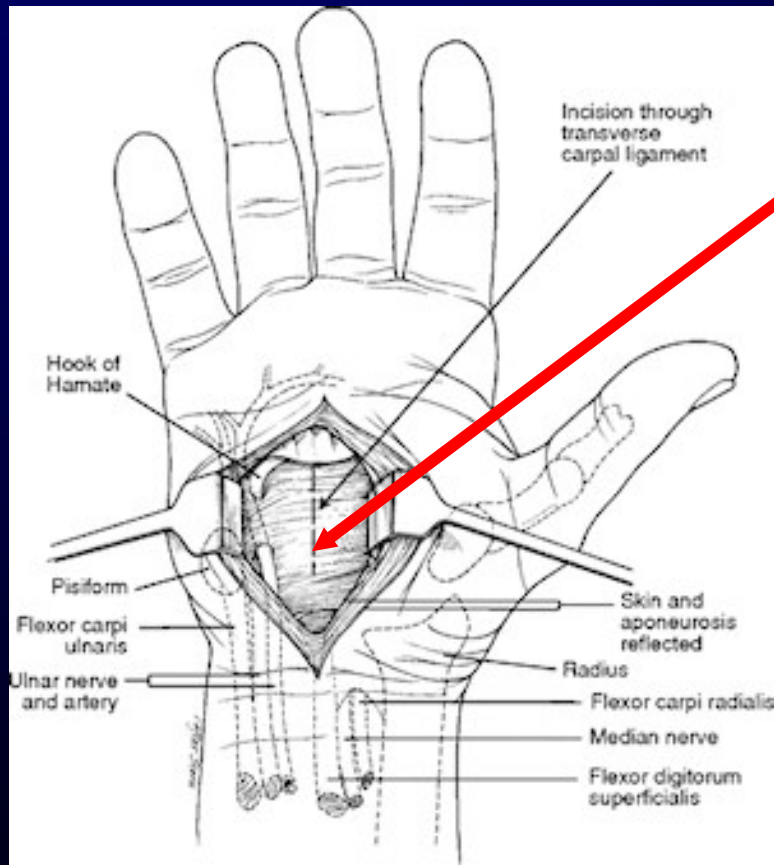


- 神経伝導速度
- 筋電図

治療

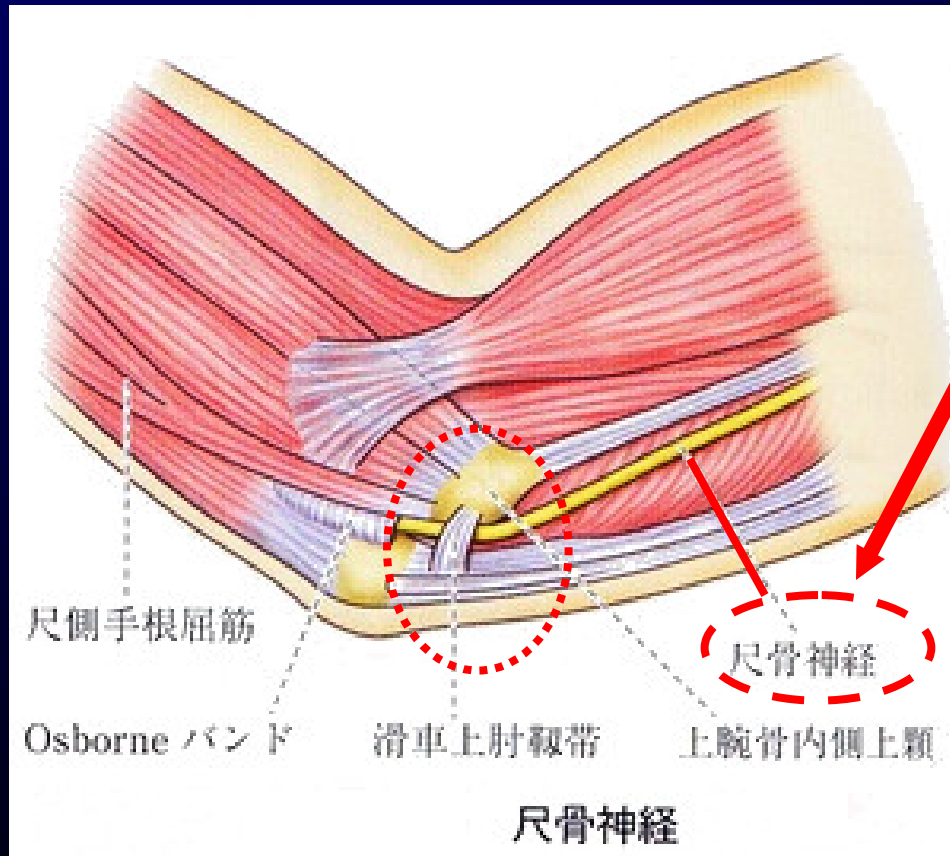
- 安静（仕事の調整、そえぎ固定）
- 内服薬
 - 痛み止め、ビタミンB12（メチコバル）など
- 注射
 - ステロイド（炎症止め）
- 手術

手根管開放術



横手根靱帯の切離

肘部管症候群

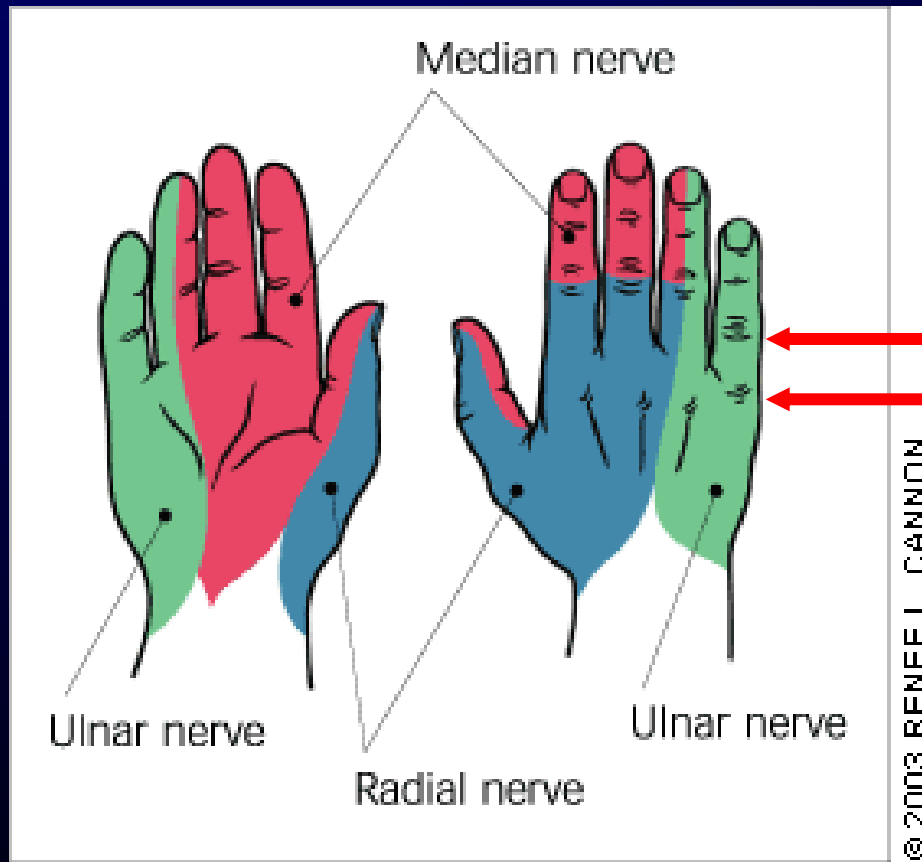


尺骨神経の障害

子供の頃、肘の骨折

肘の加齢変形

肘部管症候群：しびれる場所

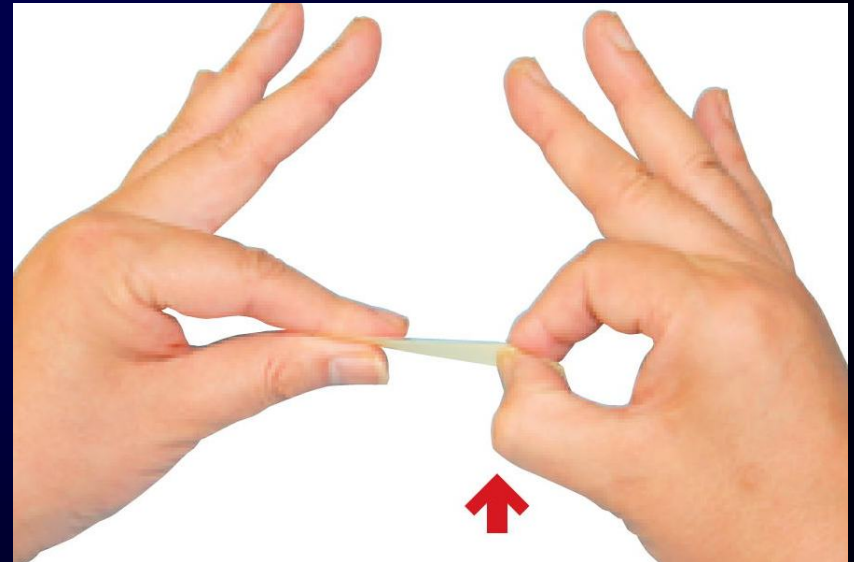


薬指、小指のしびれ

簡単な自己チェック: 肘部管症候群



肘の内側を叩くとしびれる



紙がつかみにくい

診断・治療

- 診断
 - － 神経伝導速度
- 治療
 - － 安静：仕事調整など
 - － 内服薬：痛み止め、ビタミン剤（メチコバールなど）
 - － 注射：ステロイド注射
 - － 手術

まとめ

- 頸椎や末梢神経の障害によるしびれは、部位がはっきりしている傾向があります。
- 首の動きや手の使い過ぎでしびれが出るなら、整形外科の病気の可能性があります。

注意、急いで受診すべき場合

- 麻痺がある場合はお早目の受診を！
 - －グーパーを早くできるか？
 - －猿手になっていないか？
 - －紙がつかめるか？
 - －バンザイが出来るか？
 - －歩くときに足がもつれないか？

御清聴ありがとうございました。

• 東邦大学医療センター佐倉病院整形外科

- 古府照男教授
- 中川晃一准教授
- 中島新講師
- 園部正人助教
- 柴田孝史助教
- 佐々木裕医師
- 新井崇医師